



すまいるたん



第472号
令和3年

8月25日

昭和二十一年八月二十六日(日) 東京新聞二面より

昭和二十一年八月二十六日(日)
東京新聞二面より

風雨と壁や畳の手入れ

暴風雨に部屋の壁のくづれもまた多い、部屋の壁は大い砂壁か漆喰塗りである、砂壁はひびの入ることも多いが、砂が落ち易い、これを掃除するには●箒ほうきを使用した方がよい漆喰壁の割れ傷やひびは放置するとそこからくづれ易い

割れ目やくぼみに石膏や石炭の固形ものをつめる、石膏や石炭もない時は白墨を削った粉末と糊とをませ練り合せ、竹べらか木べらで押しこんでおくとよい

雨漏り、雨のふきこみでぬれた畳たたみは運び出して日光で乾燥させること、この際ごみはバンバンと竿や棒で強くとくき出す習慣があるが、強くとくことは結局たぐみ傷めることになる

軽く表裏両面の埃を落とし、細竹で静かに打つ位にする

畳も久しく替ることが出来なかったが、傷は放置すれば損傷が激しくなる、損傷の箇所へ厚めの紙を貼っておくだけでも傷みを拡大かくだいせず、当分は間にあふし、かうして拡大を防いでおけば、畳替も裏返しだけで済む

外廻りの掃除については、塵埃を取除いたあとの土を家にむかつて掃きよせること

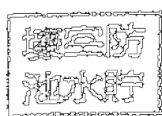
と
家の方から外にむかつて一方的に掃き出すと永い間には土台の基礎が現はれて来て遂には雨水が空地や庭に逆流する結果になる
然し土台に土をかぶせては土台の腐朽を早めるから注意する

水はけの点で、床下へ逆流するやうな箇所は家の廻りに小溝を掘っておくとよい、家は手入れ次第で永持ちする戦災で住宅も少なくなつてゐるから少しでも手入れをして住むことに

防火・増産に利用

蓄積したものは取壊し

心がけよう



戦争の終結により防空壕、貯水池の処理については関係當局でその取扱方針が研究されてゐるが、何れもこれを急速に整理せしめる意圖はないがそれかといつて何時までも放置しておくことは凡ゆる意味から不適當なので内務省では防空壕、貯水池は取敢ず今後の火災や増産面に役立たしめるやう各自において適當に處理することを要望してゐる

この場合防空後でも例へば道路に面したところなどは出入に不便であり不測の事故も考へられるのでこれなどは手ツ取り早く自由に取壊すことが望ましい

また火叩き窯口などの防空資材、貯水槽、貯水池等は平時の火災に備へて保存することが便利であるのでこれを機械的に處理することなく特に損壊の甚だしいものや漏水する貯水池等は至急取壊の上増産その他の有用なる方

面に轉用することが要望されてゐる

今を急げ 築土防壁

都の果敢たる奨励策を望む

戦災跡地をこのまゝにしてゐてよいのか東京都の調査によると都内の戦災跡地總面積は実
に一万四千五百町に及んでゐる、このうち公共用地や道路その他の施設用地に約二割程度廻されるものとみても最小限度六千町が農園として開墾出来るといふ見透しになつてゐる

そのため東京都では先きに戦災跡地農地利用推進要綱を決定、その開墾に學徒の勤勞動員、青少年團、會社、工場、町會、隣組等の出勤協力を求める旨を発表したが、現在に至るも一向に開墾される氣配がない、戦争締結により次に來る問題は都民の食糧確保である、この一万四千五百町の戦災跡地を農園化する事によつて如何に今後の台所を潤すかを考へると一日もその実施の早きが要請される、特に廣瀬新都長官の英断を俟つところ大なるものがある、この開発につき特と望まれることは一

作物は野菜を主として●類及び穀類その他の主要食糧をも奨励し、供出を免除する、また家畜の飼育も大いに奨励する、この他專業農家の誘導育成により利用面積の擴大を促進し、當局から相當の助成の道を●すること、開発に要する種苗資材の斡旋に勤め、特に農機具については都當局から生産工場を指定し、これに援助を與へて生産能力を高めさせ一般配給物と貸與用の農機具の増加を圖るべきである
※●は判読不明文字です。